

リストNo		07-028		施設コード		04479		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		よしん第1・第2放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区天王町1351-1						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		株式会社明日葉						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	165.03		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2006/3/27			代表地目(現況地目)			
	経過年数(主要建物)	18						
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	42	31
	維持補修費(修繕費)	0	135	59
	物件費(光熱水費)	488	555	468
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	530	732	558
行政コスト(B-A)		530	732	558
収支前年比		72.40	131.18	58.13
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		898	898	898
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	78	78	78
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	13,772	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同 分 類	07-023	よしん第3放課後児童会	生活	0.0
	07-078	よしん第4・第5放課後児童会	生活	0.0
	07-024	与進北放課後児童会	生活	0.7
	07-069	おおせ放課後児童会	生活	1.7
そ の 他 の 分 類	15-035	与進小学校	生活	0.0
	08-030	与進幼稚園	生活	0.1
	26-040	天王雨水ポンプ場	—	0.3
	03-033	長上協働センター	生活	0.6
	15-115	与進中学校	生活	0.7
	14-043	浜松第21分団	コミュニティ	0.7
	15-036	与進北小学校	生活	0.7
	26-039	市野雨水ポンプ場	—	0.8

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	07-028	施設コード	04479	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	よしん第1・第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(よしん第1放課後児童会)	2023	—	—	—	
2022				—	—	—		
2021				—	—	—		
事業②		放課後児童健全育成事業(よしん第2放課後児童会)	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業③	—	2023	—	—	—			
		2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
事業④	—	2023	—	—	—			
		2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—			
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	3,212	4,436	3,381	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,795	9,385	7,154
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)供給評価、前年収支比率等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(与進小学校)							

リストNo		07-029		施設コード		04975		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		篠浜放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区篠原町10300						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	85.82		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					代表地目(現況地目)	
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2004/2/16						
	経過年数(主要建物)	20						
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	21	31
	維持補修費(修繕費)	0	565	33
	物件費(光熱水費)	146	168	146
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	167	754	210
行政コスト(BーA)		167	754	210
収支前年比		22.15	359.05	91.30
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		560	560	560
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	7,468	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	15-042	篠原小学校	生活		0.0	
	15-120	篠原中学校	生活		0.3	
	03-042	篠原協働センター	生活		0.4	
	14-051	浜松第38分団	コミュニティ		0.4	
	24-012	篠原中排水機場	—		1.0	
	24-016	坪井排水機場	—		1.2	
	20-001	西部清掃工場	広域		1.4	
	01-014	西行政センター	地域		1.4	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-029	施設コード	04975	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	篠浜放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(篠浜放課後児童会)	2023	—	—	—			
2022				—	—	—				
2021				—	—	—				
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,946	8,786	2,447	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,175	18,850	5,250	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(篠原小学校)								

リストNo		07-030		施設コード		04976		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		松かげ第2放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区神ヶ谷町3490						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	85.82		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2004/2/16						
	経過年数(主要建物)	20			代表地目(現況地目)			
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	117	113	119
	維持補修費(修繕費)	0	351	19
	物件費(光熱水費)	162	193	165
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	279	657	303
行政コスト(B－A)		279	657	303
収支前年比		42.47	216.83	131.74
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		606	606	606
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	8,082	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同 分 類	07-032	どんぐり第2放課後児童会	生活	1.7
そ の 他 の 分 類	15-043	神久呂小学校	生活	0.0
	08-034	神久呂幼稚園	生活	0.2
	15-117	神久呂中学校	生活	0.4
	20-005	西部衛生工場神原ポンプ場	地域	0.4
	03-037	神久呂協働センター	生活	0.7
	14-047	浜松第32分団	コミュニティ	0.8
	03-091	神ヶ谷会館	コミュニティ	1.0
	03-092	神原会館	コミュニティ	1.0

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	07-030	施設コード	04976	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		
	施設名	松かげ第2放課後児童会			施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
			設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後もニーズは高い状況にあると見込まれる						
		特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	放課後児童健全育成事業(松かげ第2放課後児童会)			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業②		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	○	—			
		広域化	—	—	—	—			
民生導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	3,251	7,656	3,531	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,975	16,425	7,575
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考
公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。
放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。
そのため、需要等にに応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。

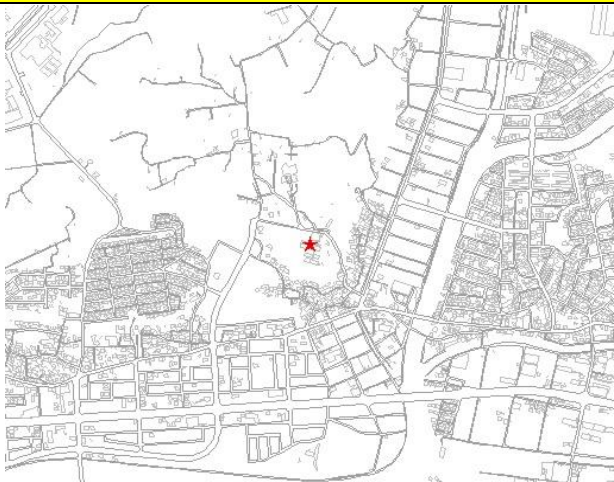
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—

当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(神久呂小学校)

リストNo		07-031		施設コード		01596		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		西都台放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区西鴨江町1106						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	495.00		土地情報	土地面積		0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2002/3/1			代表地目(現況地目)			
	経過年数(主要建物)	22						
用途地域		市街化調整区域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	70	28	66
	維持補修費(修繕費)	394	0	22
	物件費(光熱水費)	161	188	125
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	625	216	213
行政コスト(B-A)		625	216	213
収支前年比		289.35	101.41	29.42
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		2,175	2,175	2,175
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	90	90	90
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	25,665	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-032	どんぐり第2放課後児童会	生活	1.9		
その他の分類	15-039	西都台小学校	生活	0.0		
	24-008	境川排水機場	—	0.5		
	24-018	薬師谷排水機場	—	0.7		
	24-015	西部排水機場	—	0.8		
	15-121	入野中学校	生活	1.2		
	03-038	入野協働センター	生活	1.3		
	14-048	浜松第33分団	コミュニティ	1.4		
	05-011	佐鳴湖公園	地域	1.6		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-031	施設コード	01596	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		
	施設名	西都台放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる						
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	放課後児童健全育成事業(西都台放課後児童会)	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
		事業②	放課後児童健全育成事業(西都台第2放課後児童会)	2023	—	—	—		
2022				—	—	—			
2021				—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	大雨・台風時の風向きにより、建物の窓枠から雨漏りする場所がある。							
	対応策	継続して状況を把握し、必要な修繕を検討していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	○	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,263	436	430	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,944	2,400	2,367	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(西都台小学校)								

リストNo		07-032		施設コード		01785		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		どんぐり第2放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区大平台三丁目6-2						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎		
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文		
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店						
開館時間		13:00 ～ 18:30						
建物情報	総延床面積	253.17		土地情報	土地面積		425.82	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	425.82		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					宅地	
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	2005/4/6						
	経過年数(主要建物)	19			代表地目(現況地目)			
用途地域		第一種中高層住居専用地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	42	31
	維持補修費(修繕費)	28	45	42
	物件費(光熱水費)	450	466	378
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	520	553	451
行政コスト(B-A)		520	553	451
収支前年比		94.03	122.62	117.45
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		1,571	1,571	1,571
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	37,354	24,092	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-030	松かげ第2放課後児童会	生活	1.7
	07-009	さなる放課後児童会	生活	1.8
	07-033	めだか放課後児童会	生活	1.9
	07-031	西都台放課後児童会	生活	1.9

その他の分類	15-044	大平台小学校	生活	0.1
	13-028	佐鳴湖西団地	地域	0.2
	14-015	西消防署大平台出張所	地域	0.2
	12-008	浜松市環境共生住宅実験施設	市域	0.2
	03-091	神ヶ谷会館	コミュニティ	0.7
	24-018	薬師谷排水機場	—	1.2
	14-047	浜松第32分団	コミュニティ	1.3
	26-007	御前谷ポンプ場	—	1.4

施設周辺地図情報

基本情報	リストNo	07-032	施設コード	01785	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	どんぐり第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数			
			放課後児童健全育成事業(どんぐり放課後児童会)		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
放課後児童健全育成事業(どんぐり第2放課後児童会)			2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
—			2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
—			2023	—	—	—				
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)	課題	—								
		—								
		方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	○	—				
		広域化	—	—	—	—				
施設所管課・本庁所管課記入欄	民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,054	2,184	1,781	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,200	5,530	4,510	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(大平台小学校)								

リストNo		07-033		施設コード		04977	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		めだか放課後児童会					
所在(町名・番地)		中央区入野町6470-1					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	199.50		土地情報	土地面積		188.03
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	188.03	
	地上階数(主要建物)	2				うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-					
	建築年月日(主要建物)	2004/9/1					
	経過年数(主要建物)	19			代表地目(現況地目)		学校用地
用途地域		第二種住居地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	21	31
	維持補修費(修繕費)	0	31	128
	物件費(光熱水費)	509	520	372
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	530	572	531
行政コスト(B-A)		530	572	531
収支前年比		92.66	107.72	145.88
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,026	1,026	1,026
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	70	70	70
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	7,213	14,702	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活		1.3	
	07-009	さなる放課後児童会	生活		1.3	
	07-032	どんぐり第2放課後児童会	生活		1.9	
そ の 他 の 分 類	15-045	入野小学校	生活		0.1	
	05-011	佐鳴湖公園	地域		0.5	
	14-048	浜松第33分団	コミュニティ		0.7	
	03-038	入野協働センター	生活		0.7	
	03-049	可美協働センター	生活		0.7	
	15-121	入野中学校	生活		0.9	
	23-094	高塚駅南北自由通路	地域		1.0	
	03-026	佐鳴台協働センター	生活		1.0	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-033	施設コード	04977	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	めだか放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(めだか放課後児童会)	2023	—	—				
				2022	—	—				
				2021	—	—				
事業②		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業④		—	2023	—	—					
	2022		—	—						
	2021		—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,657	2,867	2,662	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,571	8,171	7,586	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)供給評価、前年収支比率等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(入野小学校近接)								

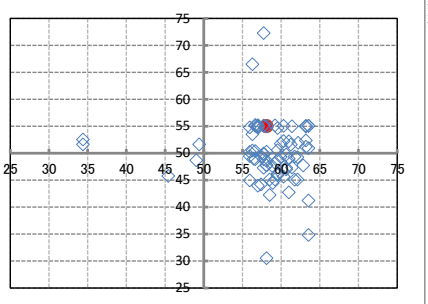
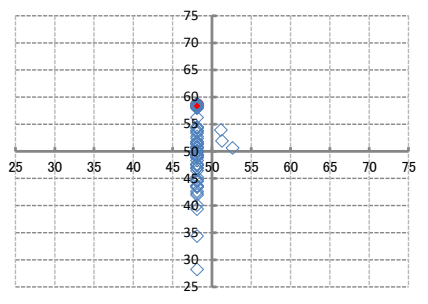
リストNo		07-034	施設コード		02750	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		雄踏なかよし第1放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区雄踏町宇布見7997-2				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	145.40		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2007/3/9				
	経過年数(主要建物)	17				
用途地域		第二種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	21	31
	維持補修費(修繕費)	0	77	19
	物件費(光熱水費)	289	350	323
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	310	448	373
行政コスト(B－A)		310	448	373
収支前年比		69.20	120.11	86.74
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		278	278	278
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	50	54	54
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	7,924	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	15-047	雄踏小学校	生活		0.0	
	03-011	雄踏文化センター	地域		0.1	
	06-009	雄踏図書館	地域		0.3	
	08-017	雄踏保育園	生活		0.4	
	14-057	浜松第46分団	コミュニティ		0.4	
	04-036	重要文化財中村家住宅	文化財		0.5	
	08-038	雄踏幼稚園	生活		0.6	
	21-002	雄踏斎場	地域		0.6	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-034	施設コード	02750	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	雄踏なかよし第1放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況			
							のべ募集人員	参加者数		
		事業①	放課後児童健全育成事業(雄踏なかよし第1放課後児童会)			2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業②		—			2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業③		—			2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
事業④		—			2023	—	—	—		
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,132	3,081	2,565	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,200	8,296	6,907	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(雄踏小学校)								

リストNo		07-035	施設コード		04978		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		わじ第1放課後児童会					
所在(町名・番地)		中央区湖東町2005					
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	336.80	土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	2006/4/6					
	経過年数(主要建物)	18		代表地目(現況地目)			
	用途地域			市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	20	31
	維持補修費(修繕費)	0	222	252
	物件費(光熱水費)	435	532	446
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	456	774	729
行政コスト(B-A)		456	774	729
収支前年比		58.91	106.17	166.06
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,694	1,694	1,694
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	110	90	90
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数		—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	27,668	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-012	北星児童館	生活		2.0	
その他の分類	03-040	和地協働センター	生活		0.1	
	15-048	和地小学校	生活		0.1	
	26-035	和地中継ポンプ場	—		0.3	
	13-039	湖東団地	地域		0.4	
	26-011	湖東中継ポンプ場	—		0.6	
	03-089	湖東西会館	コミュニティ		0.6	
	08-040	和地幼稚園	生活		1.2	
	14-050	浜松第37分団	コミュニティ		1.2	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-035	施設コード	04978	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	わじ第1放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(わじ第1放課後児童会)	2023	—	—				
2022				—	—					
2021				—	—					
事業②		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③	—	2023	—	—						
		2022	—	—						
		2021	—	—						
事業④	—	2023	—	—						
		2022	—	—						
		2021	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会伊福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,354	2,298	2,164	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,145	8,600	8,100	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(和地小学校)								

リストNo		07-036		施設コード		04040			
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設							
施設名		伊佐見放課後児童会							
所在(町名・番地)		中央区伊左地町54-3							
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域				
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎			
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文			
設置根拠(法)		児童福祉法							
条例		—							
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
運営形態		施設包括管理委託							
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～							
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店							
開館時間		13:00 ～ 18:30							
建物情報	総延床面積	194.21		土地情報	土地面積	273.15			
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	273.15			
	地上階数(主要建物)	2				うち借地面積	0.00		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					代表地目(現況地目)	官公庁用地	
	耐震工事(主要建物)	-			土地取得事業費(千円)			計	
	建築年月日(主要建物)	2009/3/6						—	—
	経過年数(主要建物)	15			—	—			
用途地域		市街化調整区域							
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計			
設置事業費		—		—		—			
財源	国・県	—		—		—			
	寄付金	—		—		—			
	その他	—		—		—			
	市債	—		—		—			
	一般財源	—		—		—			
特記事項	—								



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	42	31
	維持補修費(修繕費)	0	141	726
	物件費(光熱水費)	416	490	286
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	458	673	1,043
行政コスト(B－A)		458	673	1,043
収支前年比		68.05	64.53	224.30
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,019	1,019	1,019
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	8,163	18,681	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2008	施設整備工事(建築工事)	33,915			
	2008	施設整備工事(機械設備工事)	10,290			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	03-039	伊佐見協働センター	生活		0.0	
	08-033	伊佐見幼稚園	生活		0.1	
	14-049	浜松第36分団	コミュニティ		0.1	
	15-041	伊佐見小学校	生活		0.1	
	06-010	はまゆう図書館	地域		0.7	
	24-010	佐浜第1排水機場	—		0.8	
	03-090	佐浜会館	コミュニティ		1.0	
	24-011	佐浜第2排水機場	—		1.1	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-036	施設コード	04040	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	伊佐見放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(伊佐見第1放課後児童会)	2023	—	—				
				2022	—	—				
				2021	—	—				
		事業②	放課後児童健全育成事業(伊佐見第2放課後児童会)	2023	—	—				
2022				—	—					
2021				—	—					
事業③		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業④		—	2023	—	—					
	2022		—	—						
	2021		—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,358	3,465	5,370	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,725	8,413	10,430
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価					（縦軸）供給評価、前年収支比率等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(伊佐見協働センター隣接)							

リストNo		07-037	施設コード	04472	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		舞阪なかよし放課後児童会			
所在(町名・番地)		中央区舞阪町舞阪76			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	248.68	土地情報	土地面積	564.24
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造		うち所有面積	564.24
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2012/12/7			
	経過年数(主要建物)	11			
用途地域		第二種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	42	31
	維持補修費(修繕費)	0	0	136
	物件費(光熱水費)	306	361	297
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	348	403	464
行政コスト(B－A)		348	403	464
収支前年比		86.35	86.85	78.38
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,256	1,256	1,256
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	25,107	19,242		—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2012	施設整備工事(建築工事)	32,221			
	2012	施設整備工事(機械設備工事)	9,494			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	15-046	舞阪小学校	生活		0.0	
	18-004	舞阪コミュニティ防災センター	地域		0.2	
	04-037	舞坂宿脇本陣	文化財		0.3	
	14-054	浜松第43分団	コミュニティ		0.3	
	01-015	舞阪支所	地域		0.4	
	08-016	舞阪第2保育園	生活		0.4	
	12-007	水産物荷捌所	小規模等		0.4	
	13-032	第2吹上団地	地域		0.5	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-037	施設コード	04472	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	舞阪なかよし放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(舞阪なかよし放課後児童会)	2023	—	—				
				2022	—	—				
				2021	—	—				
事業②		放課後児童健全育成事業(舞阪なかよし第2放課後児童会)	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業④		—	2023	—	—					
	2022		—	—						
	2021		—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,399	1,621	1,866	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	3,480	4,030	4,640	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(舞阪小学校)								

リストNo		07-038		施設コード		04979	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		庄内学園放課後児童会					
所在(町名・番地)		中央区庄内町2-1					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	235.31		土地情報	土地面積	0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	2				うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-					
	建築年月日(主要建物)	2014/3/10					
	経過年数(主要建物)	10			代表地目(現況地目)		
用途地域		第一種住居地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



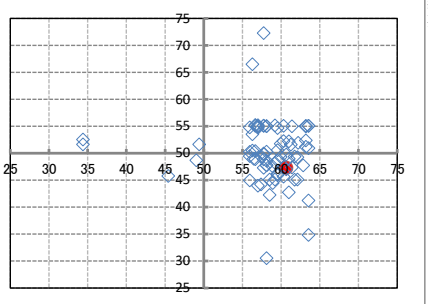
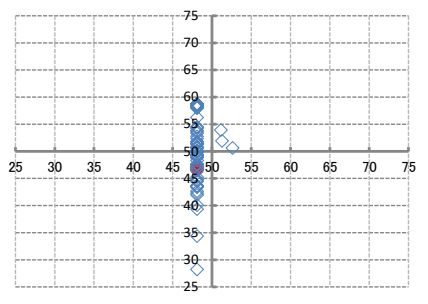
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	21	31
	維持補修費(修繕費)	0	464	0
	物件費(光熱水費)	342	484	485
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	363	969	516
行政コスト(B-A)		363	969	516
収支前年比		37.46	187.79	99.42
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,559	1,559	1,559
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	70
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	36,379	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2013	放課後児童会整備工事(建築工事)	50,835			
	2013	放課後児童会整備工事(機械設備工事)	9,130			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	14-014	西消防署庄内出張所	地域	0.1
	15-116	庄内学園(庄内小学校・中学校)	生活	0.1
	03-041	庄内協働センター	生活	0.2
	26-012	館山寺浄化センター	—	0.3
	04-019	館山寺ターミナル事務所	地域	0.9
	04-045	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場	小規模等	1.3
	18-064	旧北庄内小学校	地域	1.6
	14-052	浜松第39分団	コミュニティ	1.6



基本情報	リストNo	07-038	施設コード	04979	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	庄内学園放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(庄内学園放課後児童会)	2023	—	—				
				2022	—	—				
				2021	—	—				
		事業②	—	2023	—	—				
2022				—	—					
2021				—	—					
事業③		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業④		—	2023	—	—					
	2022		—	—						
	2021		—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,543	4,118	2,193	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,538	12,113	7,371	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(庄内学園)								

リストNo		07-039		施設コード		00034	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		いなほ放課後児童会					
所在(町名・番地)		中央区飯田町978					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		株式会社明日葉					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	136.50		土地情報	土地面積	0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造			うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	1					
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00	
	建築年月日(主要建物)	2007/4/1					
	経過年数(主要建物)	17					
用途地域		第一種住居地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



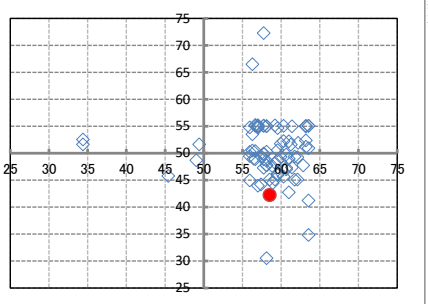
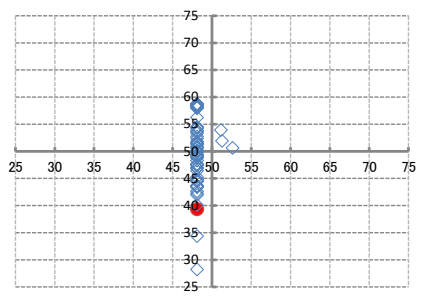
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	21	57	31
	維持補修費(修繕費)	74	0	0
	物件費(光熱水費)	385	395	321
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	480	452	352
行政コスト(B-A)		480	452	352
収支前年比		106.19	128.41	75.70
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,604	1,604	1,604
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	60	60	60
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	16,547	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2006	整備工事(建築工事)	34,946			
	2006	児童会室整備工事(機械設備工事)	7,718			

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別
	07-046	芳北小放課後児童会	生活
	07-043	さなえ第2放課後児童会	生活
	07-076	さなえ放課後児童会	生活
	07-027	ポプラの子放課後児童会	生活
	07-011	若竹第2放課後児童会	生活
その他の分類			
	15-054	飯田小学校	生活
	08-043	飯田幼稚園	生活
	03-044	東部協働センター体育館	生活
	15-127	東部中学校	生活
	13-047	飯田団地	地域
	14-016	浜松第27分団	地域
	12-004	中央卸売市場	広域
	17-006	緑化推進センター	地域



基本情報	リストNo	07-039	施設コード	00034	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	いなほ放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も需要は高い状況にあると見込まれる								
	特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況					
					のべ募集人員	参加者数				
			2023	—	—	—				
2022			—	—	—					
事業①		放課後児童健全育成事業(いなほ放課後児童会)	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
		2020	—	—	—					
事業②		—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
		2020	—	—	—					
事業③	—	2023	—	—	—					
	2022	—	—	—						
	2021	—	—	—						
	2020	—	—	—						
事業④	—	2023	—	—	—					
	2022	—	—	—						
	2021	—	—	—						
	2020	—	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	3,516	3,311	2,579	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	8,000	7,533	5,867	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(飯田小学校)									

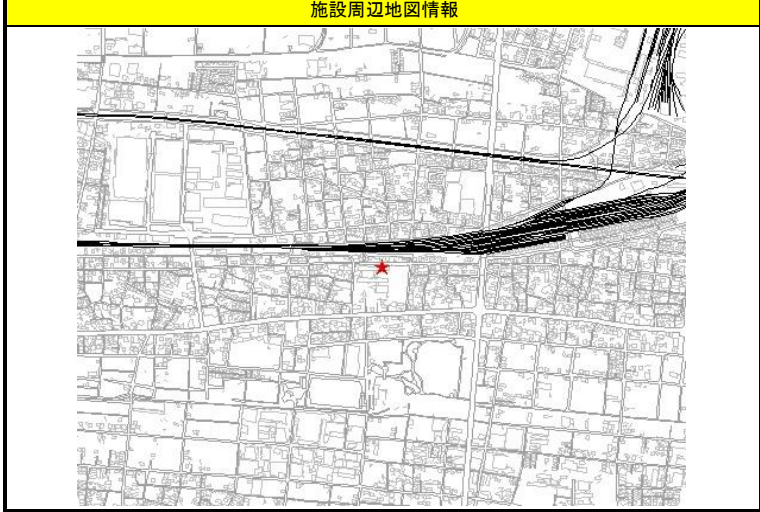
リストNo		07-041		施設コード		00379		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設						
施設名		可美希望学級第2放課後児童会						
所在(町名・番地)		中央区若林町1748						
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎			
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文			
設置根拠(法)		児童福祉法						
条例		—						
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生						
運営形態		施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～						
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店						
開館時間		13:00～18:30						
建物情報	総延床面積	85.19		土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	3				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					代表地目(現況地目)	
	耐震工事(主要建物)	—						
	建築年月日(主要建物)	2004/1/9						
	経過年数(主要建物)	20						
用途地域		第一種住居地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	20	0	0
	物件費(光熱水費)	70	77	28
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	90	77	28
行政コスト(B-A)		90	77	28
収支前年比		116.88	275.00	26.42
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		205	205	205
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	60	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	4,610	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-042	なかよし第2放課後児童会	生活	1.0
	07-033	めだか放課後児童会	生活	1.3
	07-009	さなる放課後児童会	生活	1.8
	07-004	かものご放課後児童会	生活	1.9
その他の分類	15-051	可美小学校	生活	0.0
	08-041	可美幼稚園	生活	0.1
	10-010	ふれあい交流センター可美	地域	0.2
	05-014	可美公園体育館、水泳場、弓道場	地域	0.3
	15-125	可美中学校	生活	0.5
	03-049	可美協働センター	生活	0.6
	08-018	可美保育園	生活	0.7
	14-063	浜松第41分団	コミュニティ	0.9



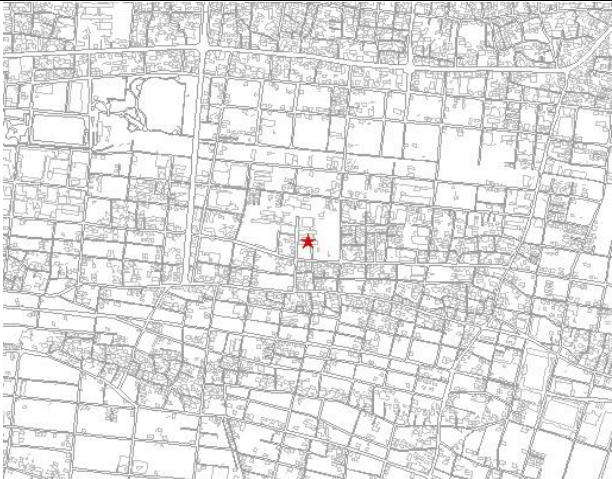
基本情報	リストNo	07-041	施設コード	00379	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	可美希望学級第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(可美希望学級第2放課後児童会)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,056	904	329	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	1,500	1,925	700
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。※専用教室(可美小学校)								

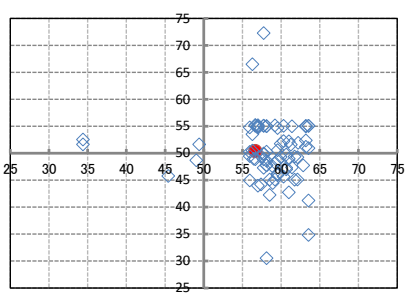
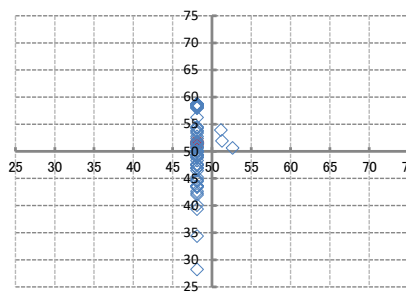
リストNo		07-042	施設コード		01436	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		なかよし第2放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区新橋町777				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日葉				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	86.90		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	4				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2003/1/7				
	経過年数(主要建物)	21				
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	0	0	0
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	56	38	21
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	56	38	21
行政コスト（B－A）		56	38	21
収支前年比		147.37	180.95	21.00
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		180	180	180
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	39	39	39
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B/S情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	3,601	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活		1.0	
その他の分類	15-052	新津小学校	生活		0.0	
	15-126	新津中学校	生活		0.2	
	03-048	新津協働センター	生活		0.4	
	08-018	可美保育園	生活		0.4	
	01-032	可美市民サービスセンター	生活		0.7	
	14-063	浜松第41分団	コミュニティ		0.7	
	14-061	浜松第19分団	コミュニティ		0.7	
	05-014	可美公園体育館、水泳場、弓道場	地域		0.9	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-042	施設コード	01436	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	なかよし第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(なかよし第2放課後児童会)	2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
				2021	—	—	—	
		事業②	—	2023	—	—	—	
2022				—	—	—		
2021				—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—		
	2022		—	—	—			
	2021		—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	644	437	242	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	1,436	974	538	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。※専用教室(新津小学校)								

リストNo		07-043	施設コード		02573	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		さなえ第2放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区芳川町206-1				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日葉				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	199.20		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	4.24				
	耐震工事(主要建物)	有			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2001/1/9				
	経過年数(主要建物)	23				
用途地域		第一種住居地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	21	21	20
	維持補修費（修繕費）	461	72	228
	物件費（光熱水費）	394	448	361
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	876	541	609
行政コスト（B－A）		876	541	609
収支前年比		161.92	88.83	156.96
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		661	661	661
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	82	82	82
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	6,830	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2007	耐震補強工事	19,814			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-076	さなえ放課後児童会	生活	0.0		
	07-046	芳北小放課後児童会	生活	0.8		
	07-011	若竹第2放課後児童会	生活	1.5		
	07-039	いなほ放課後児童会	生活	1.6		
その他の分類	15-055	芳川小学校	生活	0.1		
	08-044	芳川幼稚園	生活	0.1		
	15-128	南陽中学校	生活	0.2		
	14-062	浜松第26分団	コミュニティ	0.3		
	26-037	参野雨水ポンプ場	—	0.4		
	15-056	芳川北小学校	生活	0.8		
	14-018	南消防署芳川出張所	地域	1.0		
	14-016	浜松第27分団	地域	1.1		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-043	施設コード	02573	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		
	施設名	さなえ第2放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる						
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	放課後児童健全育成事業(さなえ第2放課後児童会)	2023	—	—	—		
2022				—	—	—			
2021				—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③	—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
事業④	—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	○	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	4,398	2,716	3,057	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	10,683	6,598	7,427	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)供給評価、前年収支比率等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(芳川小学校)									

リストNo		07-044	施設コード	04302	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		南の星放課後児童会			
所在(町名・番地)		中央区西島町1148-1			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 中部第二支店			
開館時間		13:00～18:30			
建物情報	総延床面積	167.67	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2011/1/31			
	経過年数(主要建物)	13			
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				

				
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	642	0	0
	物件費(光熱水費)	181	171	100
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	823	171	100
	行政コスト(B-A)	823	171	100
収支前年比		481.29	171.00	45.25
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		323	323	323
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	10,496	—	

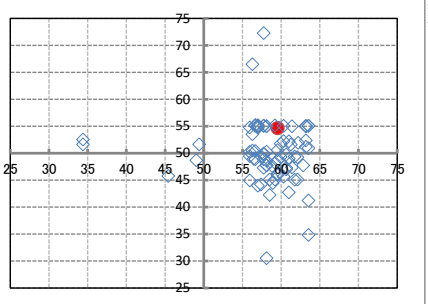
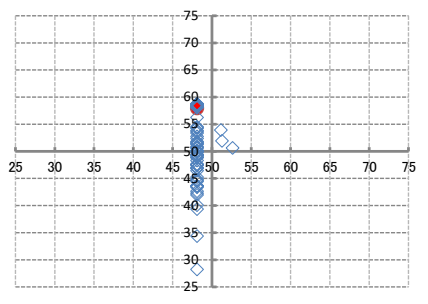
主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-047	かわわ放課後児童会	生活	2.0

その他の分類	15-057	南の星小学校	生活	0.0
	08-045	南の星幼稚園	生活	0.0
	03-046	五島協働センター	生活	0.1
	14-059	浜松第17分団	コミュニティ	0.6
	13-044	遠州浜団地	地域	1.0
	13-042	遠州浜団地福祉住宅	地域	1.0
	15-123	江南中学校	生活	1.4
	24-024	御給排水機場	—	1.4

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	07-044	施設コード	04302	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	南の星放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(南の星第1放課後児童会)	2023	—	—	—	
2022				—	—	—		
2021				—	—	—		
事業②		放課後児童健全育成事業(南の星第2放課後児童会)	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業③	—	2023	—	—	—			
		2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
事業④	—	2023	—	—	—			
		2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	4,908	1,020	596	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	10,288	2,138	1,250
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考指標								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考指標	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	当面適切な維持管理に努める。※専用教室(南の星小学校)							

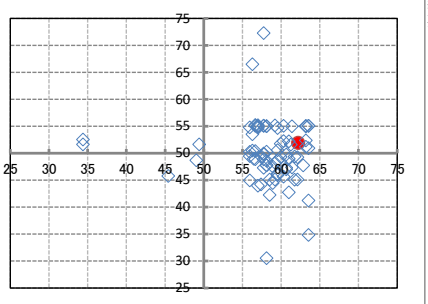
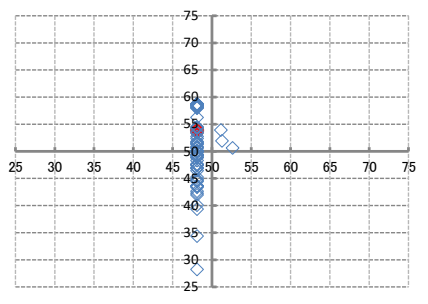
リストNo		07-045	施設コード		04397
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		しらわき放課後児童会			
所在(町名・番地)		中央区寺脇町431			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		株式会社明日葉			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	513.69	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2012/3/9			
	経過年数(主要建物)	12			
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	0	0
	収入計(A)	0	0
支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	42	42
	維持補修費(修繕費)	29	103
	物件費(光熱水費)	392	476
	物件費(借地料)	0	0
行政コスト(B-A)	支出計(B)	463	621
	行政コスト(B-A)	463	621
	収支前年比	74.56	157.22
	(参考)指定管理料	0	0
利用状況	(参考)減価償却費	5,031	1,245
	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	—	—
	開館日数/年	—	—
	施設定員数	200	100
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
B S 情報	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
有形固定資産(千円)			
土地	建物	その他	
	0	100,138	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	施設整備工事(機械設備工事)	19,192			
2023	施設整備工事(建築工事)	104,524			
2011	施設整備工事(建築工事)	31,860			
2011	施設整備工事(機械設備工事)	7,854			
近隣施設					
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)	
その他の分類	15-053	白脇小学校	生活	0.0	
	08-042	白脇幼稚園	生活	0.2	
	03-047	白脇協働センター	生活	0.2	
	14-017	南消防署白脇出張所・浜松第13分団	地域	0.4	
	26-001	中部浄化センター	—	1.2	
	24-025	寺脇排水機場	—	1.3	
	24-027	中田島排水機場	—	1.3	
	13-015	法枝団地	地域	1.4	
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	07-045	施設コード	04397	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	しらわき放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(しらわき放課後児童会)	2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
				2021	—	—	—	
事業②		放課後児童健全育成事業(しらわき第2放課後児童会)	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業③		放課後児童健全育成事業(しらわき第3放課後児童会)	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業④		放課後児童健全育成事業(しらわき第4放課後児童会)	2023	—	—	—		
	2022		—	—	—			
	2021		—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	901	1,209	769	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	2,315	6,210	3,950	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
参考	利用者等の圏域毎の方向性								
		利用用途別分類毎の方向性			個別方針				
利用用途別分類毎の方向性		浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
個別方針		当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(白鷺小学校)							

リストNo		07-046	施設コード		04552	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		芳北小放課後児童会				
所在(町名・番地)		中央区頭陀寺町1046-1				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課		課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社明日葉				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	242.98		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2013/3/8				
	経過年数(主要建物)	11				
用途地域		第二種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



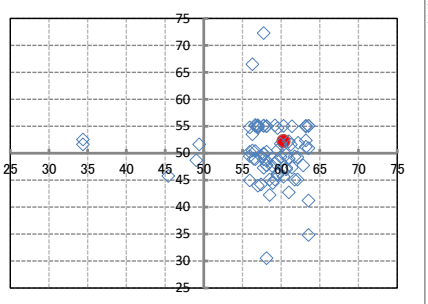
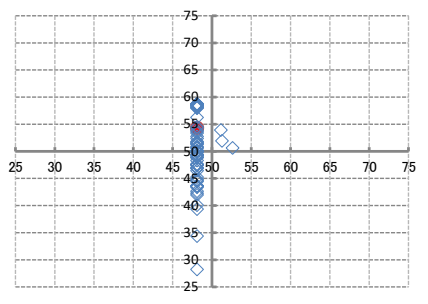
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	42	42	31
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	443	495	420
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	485	537	451
行政コスト(B-A)		485	537	451
収支前年比		90.32	119.07	116.24
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,318	1,318	1,318
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	94	94	94
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	20,184	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2012	施設整備工事(建築工事)	33,577			
	2012	施設整備工事(機械設備工事)	7,522			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-011	若竹第2放課後児童会	生活	0.7
	07-043	さなえ第2放課後児童会	生活	0.8
	07-076	さなえ放課後児童会	生活	0.8
	07-039	いなほ放課後児童会	生活	1.5
その他の分類	15-056	芳川北小学校	生活	0.0
	15-128	南陽中学校	生活	0.7
	08-044	芳川幼稚園	生活	0.8
	15-022	相生小学校	生活	0.8
	15-055	芳川小学校	生活	0.9
	26-037	参野雨水ポンプ場	—	0.9
	14-062	浜松第26分団	コミュニティ	1.1
	14-016	浜松第27分団	地域	1.2



基本情報	リストNo	07-046	施設コード	04552	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	芳北小放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(芳北小放課後児童会)	2023	—	—				
				2022	—	—				
				2021	—	—				
事業②		放課後児童健全育成事業(芳北小第2放課後児童会)	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業④		—	2023	—	—					
	2022		—	—						
	2021		—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,996	2,210	1,856	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,160	5,713	4,798
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考指標								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
参考指標	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
個別方針	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(芳北北小学校)							

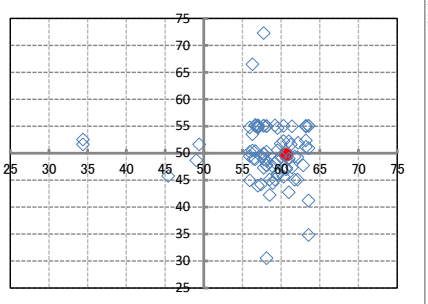
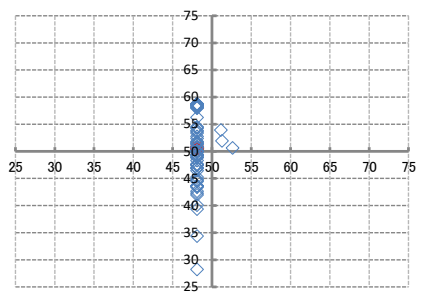
リストNo		07-047		施設コード		04640	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		かわわ放課後児童会					
所在(町名・番地)		中央区東町333					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		株式会社明日葉					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	211.84		土地情報	土地面積		0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			うち所有面積		0.00
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積		0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-					
	建築年月日(主要建物)	2014/3/10					
	経過年数(主要建物)	10			代表地目(現況地目)		
用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	42	76
	維持補修費(修繕費)	0	18	0
	物件費(光熱水費)	278	305	232
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	320	365	308
	行政コスト(B－A)	320	365	308
収支前年比		87.67	118.51	132.19
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,099	1,099	1,099
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物		その他
	0	17,927		—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2013	施設整備工事(建築工事)	27,969			
	2013	施設整備工事(機械設備工事)	7,793			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-044	南の星放課後児童会	生活		2.0	
その他の分類	15-049	河輪小学校	生活		0.0	
	14-060	浜松第18分団	コミュニティ		0.3	
	15-124	東陽中学校	生活		0.7	
	06-011	南陽図書館	地域		1.1	
	03-045	南陽協働センター	生活		1.1	
	24-024	御給排水機場	—		1.4	
	14-018	南消防署芳川出張所	地域		1.4	
	14-059	浜松第17分団	コミュニティ		1.5	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-047	施設コード	04640	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	かわわ放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も需要は高い状況にあると見込まれる						
	特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	放課後児童健全育成事業(かわわ放課後児童会)	2023	—	—	—	
				2022	—	—	—	
				2021	—	—	—	
事業②		放課後児童健全育成事業(かわわ第2放課後児童会)	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—		
	2022		—	—	—			
	2021		—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,511	1,723	1,454	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,000	4,563	3,850	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(河輪小学校)								

リストNo		07-048	施設コード	00207	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設			
施設名		伊目放課後児童会			
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀3241			
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課		課長名	北村 聡
設置根拠(法)		児童福祉法			
条例		—			
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～			
管理者名		株式会社アンフィニ			
開館時間		13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	70.00	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2005/3/1			
	経過年数(主要建物)	19		代表地目(現況地目)	
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	111	14	21
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	157	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	268	14	21
行政コスト（B－A）		268	14	21
収支前年比		1914.29	66.67	91.30
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		290	290	290
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	794	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	15-058	伊目小学校	生活		0.0	
	08-047	伊目幼稚園	生活		0.1	
	26-017	細江浄化センター	—		1.0	
	24-038	三和第2排水機場	—		1.2	
	20-007	静ヶ谷排水処理施設	地域		1.5	
	26-021	山後雨水ポンプ場	—		1.6	
	24-039	沖通り排水機場	—		1.7	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-048	施設コード	00207	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	伊目放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(伊目放課後児童会)			2023	—	—		
						2022	—	—		
						2021	—	—		
事業②		—			2023	—	—			
					2022	—	—			
					2021	—	—			
事業③		—			2023	—	—			
					2022	—	—			
					2021	—	—			
事業④		—			2023	—	—			
				2022	—	—				
				2021	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし								
	対応策	特になし								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	3,829	200	300	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,700	350	525	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(伊目小学校近接)								

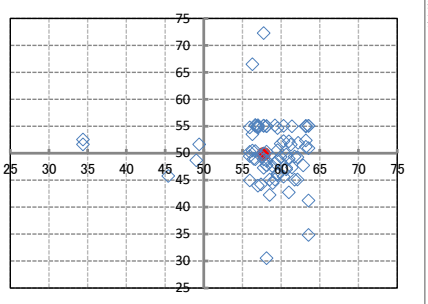
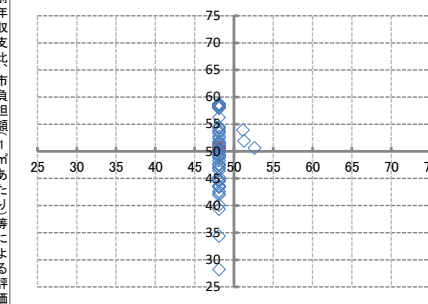
リストNo		07-049	施設コード		05818		
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		はつおい放課後児童会					
所在(町名・番地)		中央区初生町1001-2					
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		就労等により屋間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		株式会社社明日業					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	286.42	土地情報	土地面積	0.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00		
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	2005/4/6					
	経過年数(主要建物)	19		代表地目(現況地目)			
	用途地域			市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
設置事業費		—	—	—			
財源	国・県	—	—	—			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	—	—	—			
	一般財源	—	—	—			
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	62	21	31
	維持補修費（修繕費）	90	0	0
	物件費（光熱水費）	532	591	561
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	684	612	592
行政コスト（B－A）		684	612	592
収支前年比		111.76	103.38	130.68
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		1,399	1,399	1,399
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	115	100	100
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	21,456	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-079	あおぞら放課後児童会	生活		1.4	
	07-005	葵西放課後児童会	生活		1.6	
	07-072	みかた放課後児童会	生活		1.7	
その他の分類	15-070	初生小学校	生活		0.0	
	08-051	初生幼稚園	生活		0.2	
	01-013	北部収集窓口センター	地域		0.7	
	08-021	三方原保育園	生活		0.7	
	01-020	中央土木整備事務所(三方原)	地域		0.8	
	05-038	半田山グラウンドトイレ	小規模等		0.8	
	13-054	初生団地	地域		1.0	
	16-005	教育センター	市域		1.1	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-049	施設コード	05818	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	はつおい放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもの健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(はつおい第1放課後児童会)			2023	—	—		
						2022	—	—		
						2021	—	—		
事業②		放課後児童健全育成事業(はつおい第2放課後児童会)			2023	—	—			
					2022	—	—			
					2021	—	—			
事業③		放課後児童健全育成事業(はつおい第3放課後児童会)			2023	—	—			
					2022	—	—			
					2021	—	—			
事業④		—			2023	—	—			
				2022	—	—				
				2021	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	空調設備の老朽化が懸念される								
		故障する前に取替を検討(時期未定)								
	対応策	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	○	—				
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,388	2,137	2,067	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,948	6,120	5,920
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考								
	利用者の圏域毎の方向性 利用用途別分類毎の方向性				利用用途別分類毎の方向性			
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(初生小学校)							

リストNo	07-050	施設コード	01888
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	中川放課後児童会		
所在(町名・番地)	浜名区細江町中川2553-2		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課	課長名 北村 聡
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2024/4/1 ~		
管理者名	株式会社アンフィニ		
開館時間	13:00 ~ 18:30		
建物情報	総延床面積	126.20	土地情報
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2000/4/1	
	経過年数(主要建物)	24	
用途地域		市街化調整区域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



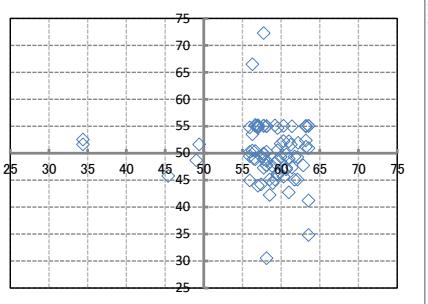
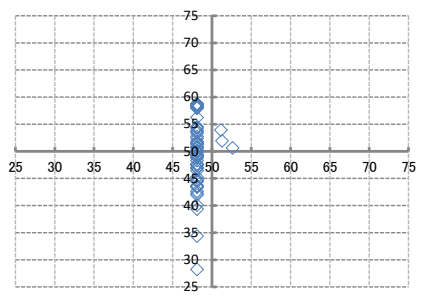
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	89	14	14
	維持補修費(修繕費)	39	0	0
	物件費(光熱水費)	262	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	390	14	14
行政コスト(B-A)		390	14	14
収支前年比		2785.71	100.00	4.35
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		538	698	435
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	90	90	90
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	5,934	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	中川小放課後児童会トイレ増設工事	8,141			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	07-054	金指放課後児童会	生活	1.3
その他の分類	15-071	中川小学校	生活	0.1
	08-054	中川幼稚園	生活	0.1
	14-070	細江第5分団	コミュニティ	0.2
	05-017	細江総合体育センター体育館	地域	0.3
	05-040	細江総合グラウンド器具庫	小規模等	0.4
	13-050	刑部団地	地域	0.6
	24-036	祝田排水機場	—	0.7
	26-020	金指汚水中継ポンプ場	—	0.9



基本情報	リストNo	07-050	施設コード	01888	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	中川放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
	特記事項		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(中川放課後児童会)	2023	—	—				
				2022	—	—				
				2021	—	—				
		事業②	—	2023	—	—				
2022				—	—					
2021				—	—					
事業③		—	2023	—	—					
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業④		—	2023	—	—					
	2022		—	—						
	2021		—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし								
	対応策	特になし								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	3,090	111	111	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,333	156	156	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(中川小学校)								

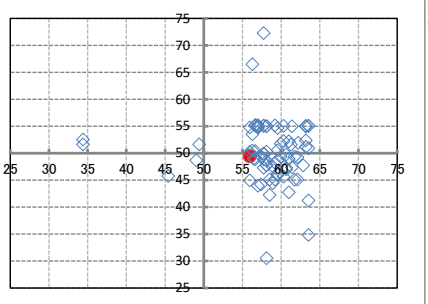
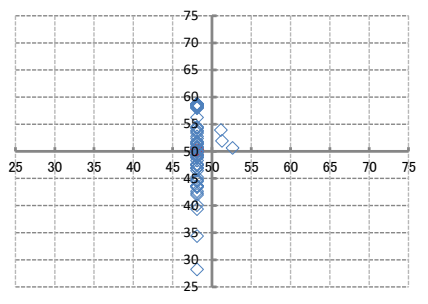
リストNo		07-051		施設コード		02045	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		ひばり放課後児童会					
所在(町名・番地)		浜名区都田町8751					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			課長名	北村 聡	
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		株式会社アンフィニ					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	263.31		土地情報	土地面積	989.49	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	989.49	
	地上階数(主要建物)	1					
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00	
	建築年月日(主要建物)	2001/1/9					
	経過年数(主要建物)	23			代表地目(現況地目)	原野	
用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	138	133	119
	維持補修費(修繕費)	185	29	0
	物件費(光熱水費)	332	396	342
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	655	558	461
行政コスト(B-A)		655	558	461
収支前年比		117.38	121.04	71.47
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,219	1,219	1,219
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	84	84	84
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	19	12,593	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	15-072	都田南小学校	生活		0.2	
	06-018	都田図書館	地域		0.2	
	03-106	市民音楽ホール	市域		0.7	
	01-031	新都田市民サービスセンター	生活		0.7	
	17-007	都田総合公園	地域		1.0	
	26-034	都田中継ポンプ場	—		1.1	
	25-003	大原浄水場	—		2.0	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-051	施設コード	02045	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	ひばり放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童会健全育成事業(ひばり放課後児童会)			2023	—	—		
						2022	—	—		
						2021	—	—		
		事業②	放課後児童会健全育成事業(ひばり第2放課後児童会)			2023	—	—		
			2022	—	—					
			2021	—	—					
事業③		—			2023	—	—			
					2022	—	—			
					2021	—	—			
事業④		—			2023	—	—			
				2022	—	—				
				2021	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし								
	対応策	特になし								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,488	2,119	1,751	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,798	6,643	5,488	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(都田南小学校)									

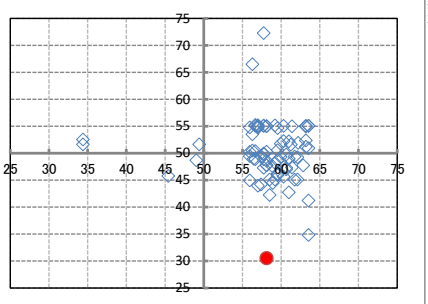
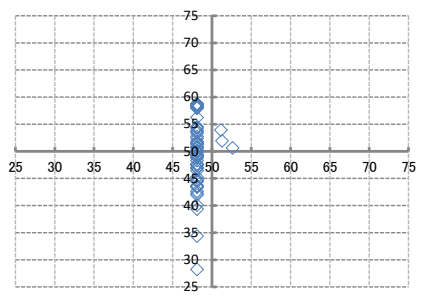
リストNo		07-052		施設コード		02568			
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設							
施設名		井伊谷放課後児童会							
所在(町名・番地)		浜名区神宮寺町8-1							
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域				
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎			
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			課長名	北村 聡			
設置根拠(法)		児童福祉法							
条例		—							
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
運営形態		施設包括管理委託							
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～							
管理者名		株式会社アンフィニ							
開館時間		13:00 ～ 18:30							
建物情報	総延床面積	134.83		土地情報	土地面積	662.34			
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造			うち所有面積	662.34			
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					代表地目(現況地目)	宅地	
	耐震工事(主要建物)	-			宅地				
	建築年月日(主要建物)	2006/4/3						宅地	
	経過年数(主要建物)	18				宅地			
用途地域		第一種住居地域							
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)			計		
設置事業費		—		—		—			
財源	国・県	—		—		—			
	寄付金	—		—		—			
	その他	—		—		—			
	市債	—		—		—			
	一般財源	—		—		—			
特記事項	—								



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	21	21	31
	維持補修費（修繕費）	968	0	0
	物件費（光熱水費）	387	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	1,376	21	31
行政コスト（B－A）		1,376	21	31
収支前年比		6552.38	67.74	124.00
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		986	986	986
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	55	55	55
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	16,142	9,189	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-054	金指放課後児童会	生活		1.5	
そ の 他 の 分 類	08-048	引佐幼稚園	生活		0.1	
	08-019	引佐保育園	生活		0.2	
	13-060	井伊谷団地	地域		0.2	
	15-066	井伊谷小学校	生活		0.2	
	01-019	引佐支所	地域		0.4	
	06-013	引佐図書館	地域		0.4	
	04-057	浜松市地域遺産センター	地域		0.4	
	14-072	引佐第1分団井伊谷	コミュニティ		0.5	
施設周辺地図情報						

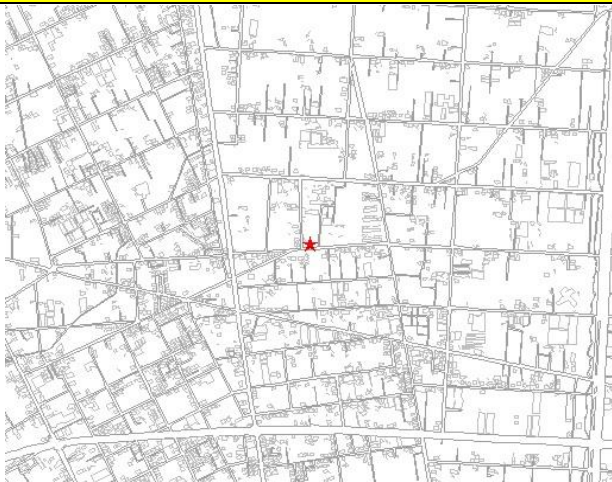
基本情報	リストNo	07-052	施設コード	02568	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	井伊谷放課後児童会			所管課	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後もニーズは高い状況にあると見込まれる								
	特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(井伊谷放課後児童会)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし								
	対応策	特になし								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	10,205	156	230	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	25,018	382	564	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(井伊谷小学校近接の引佐幼稚園隣接)									

リストNo		07-053		施設コード		05812	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設					
施設名		とよおか放課後児童会					
所在(町名・番地)		中央区豊岡町22					
利用者の圏域別分類等		生活			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			課長名	横井 通文	
設置根拠(法)		児童福祉法					
条例		—					
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
運営形態		施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～					
管理者名		株式会社明日葉					
開館時間		13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	261.00		土地情報	土地面積	436.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	436.00	
	地上階数(主要建物)	2					
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00	
	建築年月日(主要建物)	2006/4/6					
	経過年数(主要建物)	18			代表地目(現況地目)	学校用地	
用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	117	113	119
	維持補修費（修繕費）	28	486	355
	物件費（光熱水費）	689	825	732
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	834	1,424	1,206
行政コスト（B－A）		834	1,424	1,206
収支前年比		58.57	118.08	158.48
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		1,674	1,674	1,674
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	4,742	27,337	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-072	みかた放課後児童会	生活		1.1	
その他の分類	15-073	豊岡小学校	生活		0.1	
	08-057	豊岡幼稚園	生活		0.2	
	13-058	豊岡団地	地域		0.2	
	03-050	三方原協働センター	生活		0.3	
	15-131	三方原中学校	生活		0.3	
	16-005	教育センター	市域		0.9	
	14-021	中消防署曳馬野出張所	地域		1.0	
15-069	三方原小学校	生活		1.1		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	07-053	施設コード	05812	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当			
	施設名	とよおか放課後児童会			所管課	施設	子ども家庭部中央福祉事業所・児童家庭課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後もニーズは高い状況にあると見込まれる								
	特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大								
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
						のべ募集人員	参加者数			
		事業①	放課後児童健全育成事業(とよおか放課後児童会)	2023	—	—	—			
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
		事業②	—	2023	—	—	—			
2022				—	—	—				
2021				—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
	2021		—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし								
	対応策	特になし								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	○	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	3,195	5,456	4,621	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	10,425	17,800	15,075	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(豊岡小学校)									

リストNo		07-054	施設コード		04148	
利用用途別分類(施設分類)		児童福祉施設				
施設名		金指放課後児童会				
所在(町名・番地)		浜名区引佐町金指1015-4				
利用者の圏域別分類等		生活		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		課長名	鈴木 健一郎	
	施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課		課長名	北村 聡	
設置根拠(法)		児童福祉法				
条例		—				
設置目的		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者		就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態		施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間		2024/4/1 ～				
管理者名		株式会社アンフィニ				
開館時間		13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	90.78		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2010/2/10				
	経過年数(主要建物)	14				
用途地域		第一種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	61	50	21
	維持補修費(修繕費)	0	66	0
	物件費(光熱水費)	162	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	223	116	21
行政コスト(B-A)		223	116	21
収支前年比		192.24	552.38	91.30
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		797	797	797
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	15,408	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	07-050	中川放課後児童会	生活		1.3	
	07-052	井伊谷放課後児童会	生活		1.5	
そ の 他 の 分 類	13-049	金指団地	地域		0.0	
	15-060	金指小学校	生活		0.3	
	08-058	金指幼稚園	生活		0.3	
	25-005	金指西水源	—		0.5	
	26-020	金指汚水中継ポンプ場	—		0.5	
	13-052	坂田団地	地域		0.8	
	25-013	谷津ポンプ場	—		0.9	
	26-018	井伊谷浄化センター	—		0.9	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-054	施設コード	04148	所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当		
	施設名	金指放課後児童会			施設	こども家庭部浜名福祉事業所・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	放課後児童健全育成事業(金指放課後児童会)			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
	2022				—	—	—		
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし							
	対応策	特になし							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	○	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	放課後児童会の運営は、株式会社や社会福祉法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,456	1,278	231	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,575	2,900	525
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考
公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋

利用者の
圏域
毎の
方向性

利用用途別
分類
毎の
方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。

放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。

そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(金指小学校近接のコミュニティセンター金指会館隣接)